

映画

遙かな町へ

1963年—

14歳の“あの日”が甦る

A Distant Neighborhood

Based on the comic by JIRO TANIGUCHI

a YOSHINARI NISHIKORI film

BARCOS Presents

大谷亮平 ◆ 及川桃利 磯谷萌々子 ◆ 戸田菜穂 滝藤賢一

原作・谷口ジロー 脚本・監督・錦織良成

音楽・瀬川英史 エグゼクティブプロデューサー・山本 敬 企画プロデュース・結城豊弘 (ANOSA) プロデューサー・安川唯史

制作・goen® 製作・BARCOS 配給宣伝・ムービー・アクト・プロジェクト 配給協力・渋谷プロダクション

製作著作・© 2026 映画「遙かな町へ」 BARCOS 公式HP・<https://harukanamachie.jp/>

2026年/日本/カラー/シネマスコープ/126分/PG-12

「孤独のグルメ」「神々の山嶺」谷口ジロー 珠玉の名作が初の日本実写映画化

映画「遙かな町へ」倉吉完成披露試写会

日程 10月4日(日) **場所** エースパック倉吉未来中心 大ホール

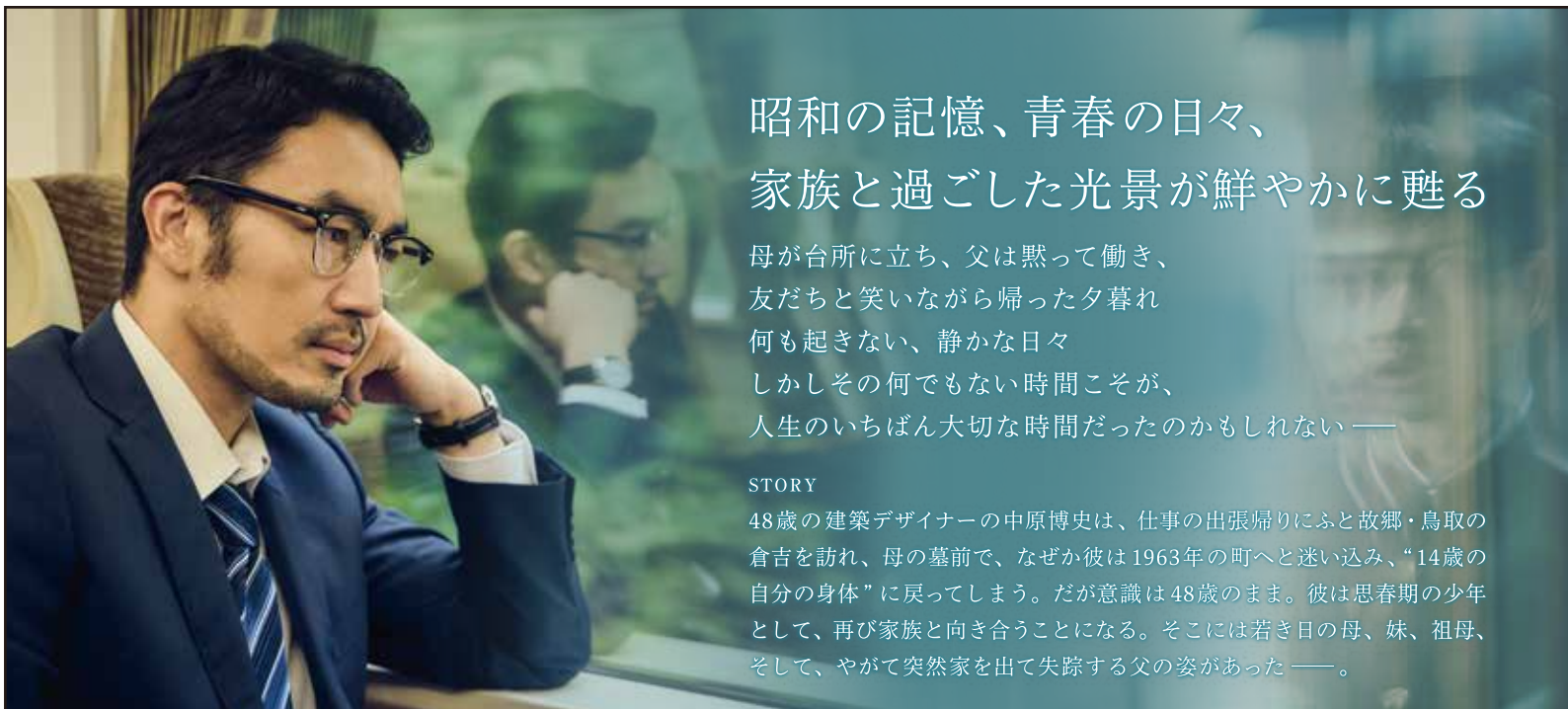
第1部 13:00～(12:30 入場開始) 第2部 17:00～(16:30 入場開始) ※1部・2部 ともに自由席

(主催) 映画「遙かな町へ」を応援する会 (主管) 一般社団法人 倉吉青年会議所 (共催) 倉吉市 (後援) 鳥取県、鳥取県教育委員会、倉吉市教育委員会、倉吉市商工会議所、新日本海新聞

倉吉青年会議所設立 65 周年記念事業



チケット申し込み・詳細はこちら▲



昭和の記憶、青春の日々、 家族と過ごした光景が鮮やかに甦る

母が台所に立ち、父は黙って働き、
友だちと笑いながら帰った夕暮れ
何も起きない、静かな日々
しかしその何でもない時間こそが、
人生のいちばん大切な時間だったのかもしれない――

STORY

48歳の建築デザイナーの中原博史は、仕事の出張帰りにふと故郷・鳥取の倉吉を訪れ、母の墓前で、なぜか彼は1963年の町へと迷い込み、“14歳の自分の身体”に戻ってしまう。だが意識は48歳のまま。彼は思春期の少年として、再び家族と向き合うことになる。そこには若き日の母、妹、祖母、そして、やがて突然家を出て失踪する父の姿があった――。

INTRODUCTION

映画『遙かな町へ』は、人生の折り返し地点を迎えた一人の男が、中学生時代にタイムスリップし、友人や初恋の人との再会、そして家族との時間を通して、自らの人生の選択を見つめ直す大人の青春物語。原作は、鳥取県出身の漫画家・谷口ジローが1998年に発表した漫画『遙かな町へ』。『孤独のグルメ』(作・久住昌之)や『神々の山嶺』(作・夢枕獯)などで知られる谷口が、自身のオリジナルストーリーによって描き上げ、フランスのアングレーム国際漫画祭をはじめ、イタリア、ドイツなど数々の漫画賞を受賞。2010年には、ルクセンブルク、フランス、ドイツの合作で映画化もされた世界的名作が、新たに日本人の監督とキャストにより実写映画化された。

主人公・博史を演じるのは、韓国で俳優のキャリアを築き、“逆輸入”のルートを経て日本で活動する大谷亮平。“ミッドライフ・クライシス(中年の危機)”を迎えた中年男性を体現した。1963年に生きた14歳の博史役に及川桃利、博史の初恋相手・長瀬智子役に磯谷萌々子。ともにオーディションで抜擢された2010年生まれの若手2人が、瑞々しい存在感を放つ。

さらに、博史の両親役に、友人と歩いた帰り道、母の声、そして父の背中……。誰も心の残る静かな記憶を見つめ、子どもだった頃の時間と向き合う物語。

映画 遙かな町へ 10/9 ROADSHOW

A Distant Neighborhood

大谷亮平 ◆ 及川桃利 ◆ 磯谷萌々子 ◆ 戸田菜穂 ◆ 滝藤賢一

このか 紀比呂子 ◆ 米盛秋音 石坂大志 小林丞之介 山口太幹 浜田 学 加藤虎ノ介 川口 覚 森 幸々 久米りりか 立川義幸
山咲トオル 平田 薫 前田亜季 藤野涼子 奥田恵梨華 ◆ 澤田 百 村尾莉采 三浦理奈 中村たんぽぽ ◆ 橋本マナミ 甲本雅裕

原作・谷口ジロー 脚本・監督・錦織良成

エグゼクティブプロデューサー ◆ 山本 敬 企画プロデュース ◆ 結城豊弘 (ANOSA) プロデューサー ◆ 安川唯史 音楽 ◆ 瀬川英史 撮影 ◆ 北 信康 照明 ◆ 柴田雄大

録音 ◆ 長村翔太 美術 ◆ 黒田享大 スクリプター ◆ 山内 薫 メイクディレクション ◆ 酒井啓介 ヘアメイク ◆ 宮島七海 衣装 ◆ 小堀あさみ 編集 ◆ 日下部元孝 助監督 ◆ 宮村敏正 制作担当 ◆ 宿崎憲造

制作プロダクション ◆ goen* 製作 ◆ BARCOS 配給宣伝 ◆ ムービー・アクト・プロジェクト 配給協力 ◆ 渋谷プロダクション ©2026 映画「遙かな町へ」BARCOS 2026年/日本/カラー/シネマスコップ/126分/PG-12

<https://harukanamachie.jp/> @X @harukanamachie

10月4日(日) 映画「遙かな町へ」倉吉完成披露試写会

全国公開に先がけキャストも登場しプレミアム試写会を開催いたします

大谷亮平 滝藤賢一 戸田菜穂 及川桃利 磯谷萌々子

*尚、キャストのスケジュールは当日変更になる場合もありますので予めご了承ください。

チケットのご購入方法

入場料 大人 2,000 円 小中高生 1,000 円



①オンライン

左記のコードからお申し込みが可能です

ピーティックス 映画遙かな町へ

検索

②前売り券販売先

倉吉商工会議所、バルコス倉吉本店、バルコス鳥取店